

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト活動報告

活動日 2019年10月9日～ 年 月 日

活動名	Let's 脱プラ!紙製土嚢でヒトにもウミガメにも優しい海へ	
活動団体名	大昭和紙工産業株式会社	
活動目的	海洋ゴミが世界的に問題となっている今、クラゲと勘違いをして、ポリ袋を食べてしまうウミガメを救うため、静岡県浜松市の遠州灘海岸を中心にアカウミガメの繁殖調査を行う環境保全団体「特定非営利活動法人サンクチュアリエヌピーオー」とともに海洋ゴミ問題解決に向けた活動をしています。	
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ 海岸侵食から砂浜を守るための土嚢袋に、当社で製造を行っている紙製の米袋を採用。・ 社内外でのセミナー実施による環境問題の情報提供。・ 海を守る SAVE THE SEA 活動に賛同。・ 砂浜回復活動。・ マイクロプラスチックゼロプロジェクト活動。・ ウミガメ生態調査・保護活動。	
活動写真		
写真説明	紙製土嚢袋に海岸植物の種を一緒に入れている様子	紙製土嚢袋を海岸に設置した様子
活動効果	紙は木材を原料としたサステナブルな製品です。また紙は生分解するので、紙製の土嚢袋を採用することにより、土嚢袋が劣化したとしてもゴミとして滞留することなく土に還ります。また「カーボンニュートラル」の考え方から、地球温暖化対策にも寄与しているため、とても環境に優しい活動であるといえます。	
今後の展望	海岸侵食防止の用途だけでなく、幅広い場面で紙製土嚢が普及できるよう定期観察、製品改良を行っていきます。またサンクチュアリエヌピーオーさんのイベントを通し、紙は決して木を無駄使いしている製品ではなく、収穫、間伐、植樹を行い、適切に木を使用することで、山を健全に保つことができることを訴求していきます。また同じ志を持つNPO団体との連携を深め、より多くの方に海岸保全活動について知ってもらえるようイベント等の企画を行っていきます。	